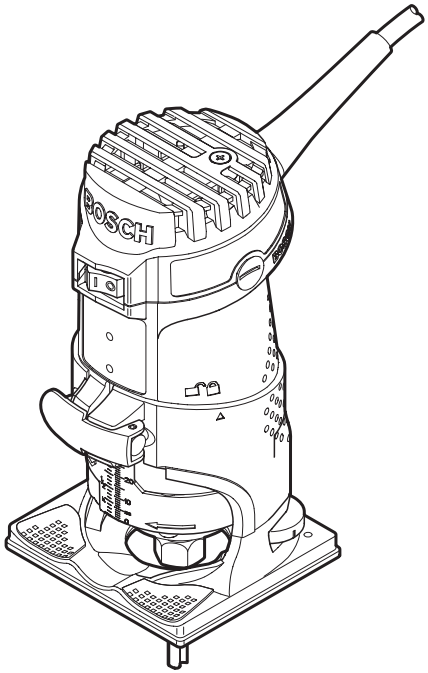
BOSCH

DIY電動工具

パワートリマー

PMR 500

アース不要
の二重絶縁



用途：

- 彫刻作業
- 面取り加工
- トリミング加工　など

このたびは、パワートリマーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

取扱説明書

目　次

安全上のご注意

警告表示の区分 2
電動工具全般についての注意事項 2
パワートリマーについての注意事項. 7

リサイクルのために

電動工具本体の回収にご協力ください 10

本製品について

用　途 11
各部の名称 12
仕　様 13
標準付属品 14

使い方

作業前の準備をする 15
切削する 22

困ったときは

故障かな？と思ったら 30
修理を依頼するときは 31

お手入れと保管

クリーニング 32
保　管 32

安全上のご注意

◆火災、感電、けがなど事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
◆ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
◆お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
◆他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠警告 ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

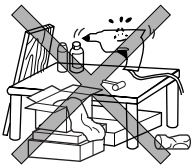
電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたパワートリマーには、当てはまらない項目も含まれています。

⚠ 警　告

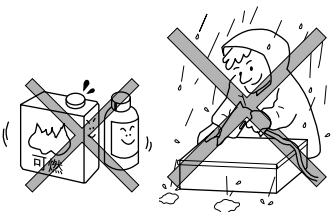
1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

◆ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
◆ 作業場は十分に明るくしてください。
◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



3. 感電に注意してください。

◆ 電動工具を使用中、アースされているものに身体を接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

4. 子供を近づけないでください。

◆ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
◆ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は錠のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

◆ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。

◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

9. 保護めがねを使用してください。

◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。

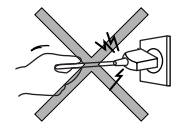
10. 防音保護具を着用してください。

◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。

◆ 電動工具に集塵機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

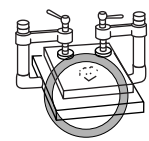
12. コードを乱暴に扱わないでください。



◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。

◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 加工するものをしっかりと固定してください。



◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

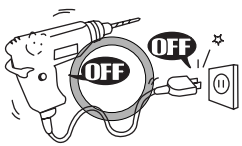
◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

◆ 使用しない、又は修理する場合。
◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
◆ その他危険が予想される場合。



17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

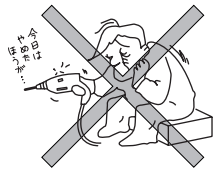
18. 不意な始動は避けてください。

◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
◆ プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

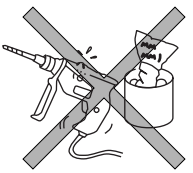
20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。



◆ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
◆ 常識を働かせてください。
◆ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか、十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
◆ 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターへ修理を依頼してください。



◆ スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

◆ この取扱説明書、及びボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターにお申しつけください。
◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

パワートリマーについての注意事項

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、パワートリマーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

⚠ 警　告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

◆ 表示を超える電圧で使用しますと、回転数が異常に高速となりけがの原因になります。

2. 使用中は、回転部に手や頭を近付けないでください。

◆ けがの原因になります。

3. 使用中は、電源コードを傷つけないよう注意し、常に本体の後方に離してご使用ください。

◆ 感電や故障の原因になります。

4. 加工材料は、確実に固定してください。

◆ 確実に固定されていないと、けがの原因になります。

5. モーターを回転させたまま、台や床などに放置しないでください。

◆ けがの原因になります。

6. 回転中のビット、コレットチャックには絶対に触れないでください。

◆ 思わぬ事故の原因となり危険です。また作業後のビットは大変熱くなっていますので、直接手で触れないでください。

7. ビットは正しくしっかりと取り付けてください。

◆ 本取扱説明書にあります「ルータービットを取り付ける・取り外す」をよく読み、しっかりと取り付けてください。

8. 使用中、機体の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

9. 人体に有害な成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてから作業してください。

⚠ 注　意

1. **本機のスイッチを入れるときは、本機の回転部が身体に接触していないことを確認してください。**
   ◆ 接触したままスイッチを入れると、けがの原因になります。

2. **作業中は保護めがねをご使用ください。**

3. **ビットの破損、加工面の焼きつき、モーターの過負荷を防ぐために、不要な力は加えないでください。**

4. **各部の固定ネジは確実に締めつけてください。**

リサイクルのために

電動工具本体の回収にご協力ください

弊社では、不要になった電動工具本体のリサイクル活動を推進しています。不要になった電動工具本体を処分するときは、お買い求めになった弊社電動工具取扱販売店にご相談ください。
資源保護・環境保護のため、弊社の推進するリサイクル活動にぜひご協力くださいますよう、お願い申しあげます。
電動工具本体の回収・リサイクルは、弊社の製品に限らせていただきます。

本製品について

用　途

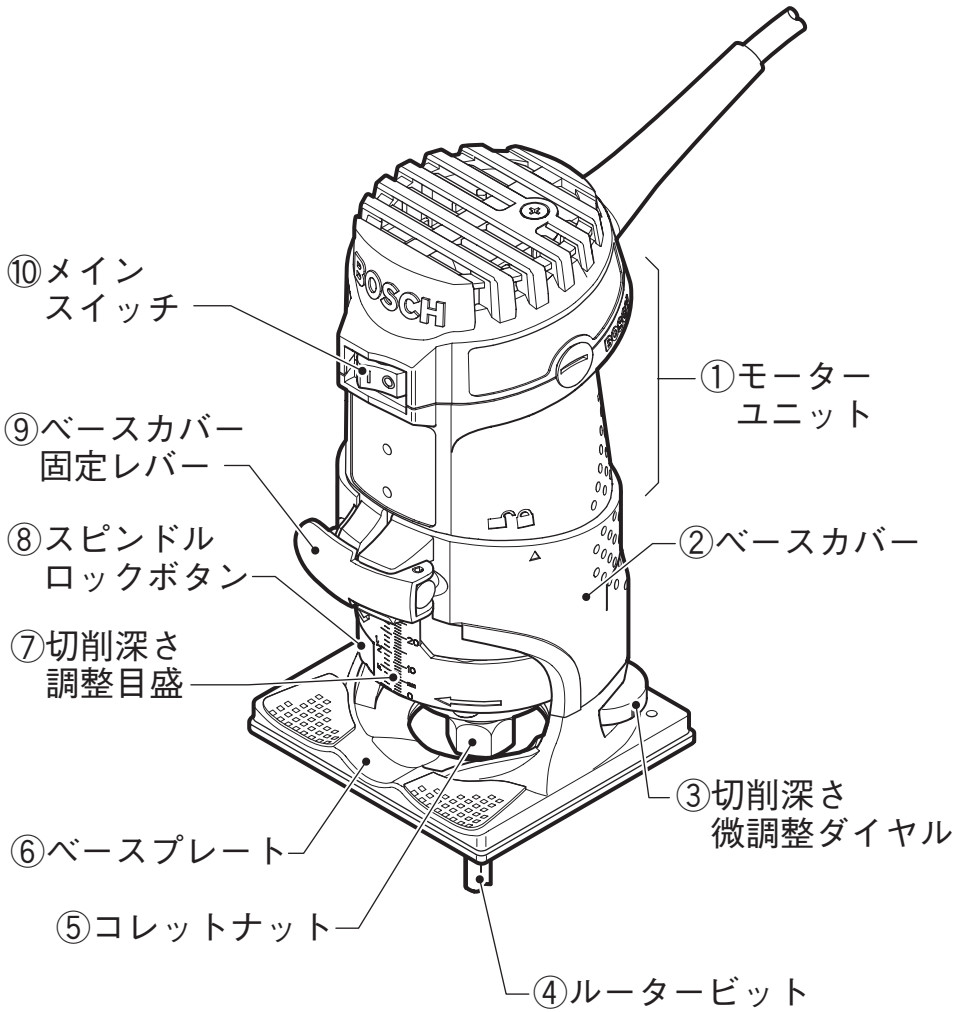
◆ 木材、プラスチック、軽量建築材等の彫刻

◆ 木材、プラスチック、軽量建築材等の面取り

◆ 木材、プラスチック、軽量建築材等の溝切り

※ 本製品はご家庭での使用を想定した「DIY用」製品です。

各部の名称

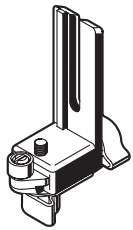


◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

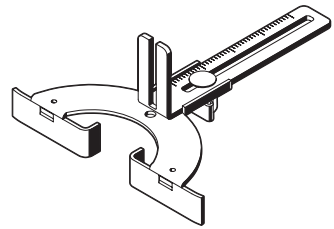
仕　様

型　番	PMR 500
電　源	単相　AC 100 V　50／60 Hz
消費電力（入力）	500 W
無負荷回転数	30000 min^{-1}（回転／分）
コレット径	6 mm
最大切削深さ	30 mm
質　量	1.5 kg

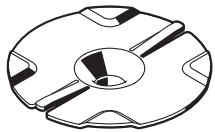
標準付属品



（トリマーガイド）



（ストレートガイド）

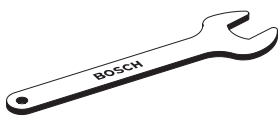


（テンプレートガイド）

ガイドセット
品番：2 607 019 211

コレット
品番：2 609 110 229

ナット
品番：2 609 110 209



スパナ
品番：SUP-17

ストレートビット（6mm）
市販品

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

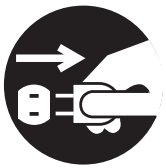
使い方

作業前の準備をする

⚠警告

◆ 作業前の準備をするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

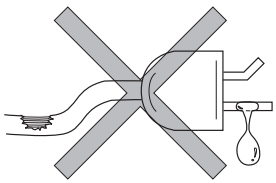


使用電源を点検する

● 単相　AC 100 V（50/60 Hz）か？

● コンセント不良（ガタ）のため、電源プラグが簡単に抜けないか？

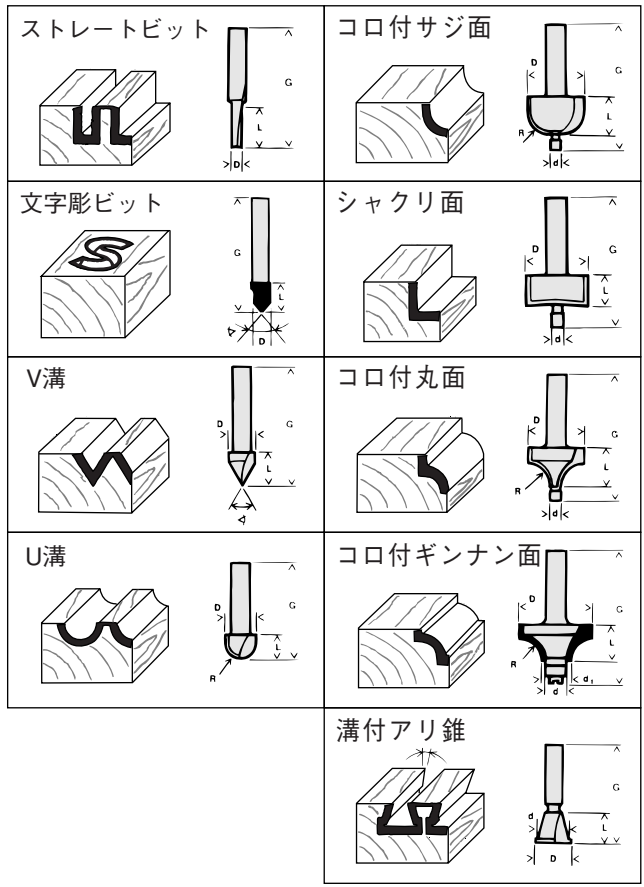
● 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していたりしていないか？



ルータービット（市販品）を選ぶ

工程や用途に合わせてルータービット④を選択してください。
ビットの形状によって切断面が異なります。
コレット径（6mmφ）に合ったシャンク径のルータービットを選択してください。

ビット例



☞ ハイスピード鋼（HSS）製ルータービットは、軟らかい木材やプラスチックなどの軟らかい材料に適しています。

☞ 超硬チップ付きルータービット（HM）は、硬い木材やアルミニウムなどの硬い材料に適しています。

ルータービットを取り付ける・取り外す

⚠警告

◆ 電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠注意

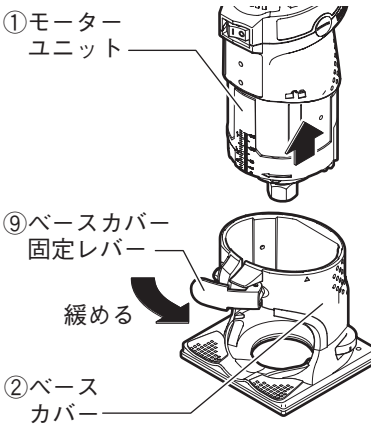
◆ ルータービットの取り付け・取り外し作業をするときは、けがの発生を防ぐため、手袋を着用してください。
◆ 作業直後はルータービットが高温になっています。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。

取り付け

1. ベースカバー固定レバー⑨を緩めます。

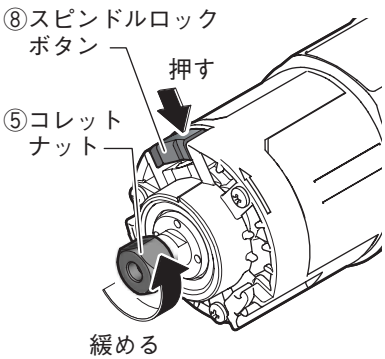
2. ベースカバー②の ▲ マークがモーターユニット①の 🔓 位置に合うように、モーターユニット①を回します。

3. モーターユニット①をベースカバー②から外します。



4. 「スピンドルロックボタン⑧」を押しながら、スパナ（17mm）でコレットナット⑤を矢印の方向に回して緩めます。

☞ スピンドルには「スピンドルロックボタン⑧」がかみ合う位置があります。「スピンドルロックボタン⑧」を押しながらコレットナット⑤を回し、スピンドルが確実にロックする位置を探してください。スピンドルがロックする位置では「スピンドルロックボタン⑧」が一段深く押し込めます。



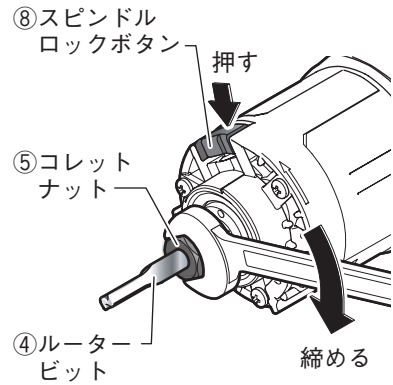
☞ コレットナット⑤は緩めるだけで取り外しません。

5. ルータービット④をコレットナット⑤に挿入します。

6. 「スピンドルロックボタン⑧」を押しながら、コレットナット⑤をスパナ（17mm）で締めます。

☞ スピンドルがロックされていないと、コレットナット⑤を締め付けることはできません。

☞ ルータービット④が挿入されていないときは、コレットナット⑤を締め付けないでください。



7. 「スピンドルロックボタン⑧」を放します。

8. ルータービット④を引いて、確実に取り付けられているか確認します。
抜けたり、緩んだりしていなければ取り付け完了です。

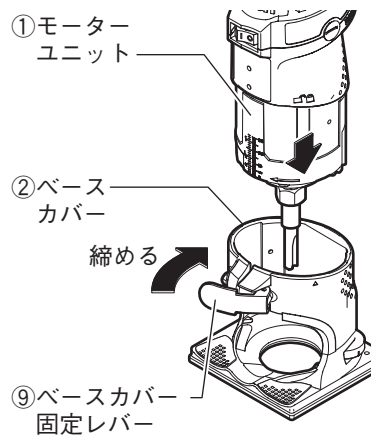
☞ 必要以上にコレットナット⑤をきつく締めないように注意してください。

9. ベースカバー固定レバー⑨を緩めた状態で、モーターユニット①をベースカバー②に取り付けます。モーターユニット①の 🔓 位置をベースカバー②の ▲ マークに合わせて取り付けてください。

10. ベースカバー②の ▲ マークがモーターユニット①の 🔒 位置に合うように、モーターユニット①を回します。

11. ベースカバー固定レバー⑨を締めます。

12. モーターユニット①がしっかりベースカバー②に固定されているか確認します。



取り外し

1. モーターユニット①をベースカバー②から外します。

☞「取り付け」の項の手順1〜3を参照してください。

2. 「スピンドルロックボタン⑧」を押しながら、スパナ（17mm）でコレットナット⑤を緩めます。

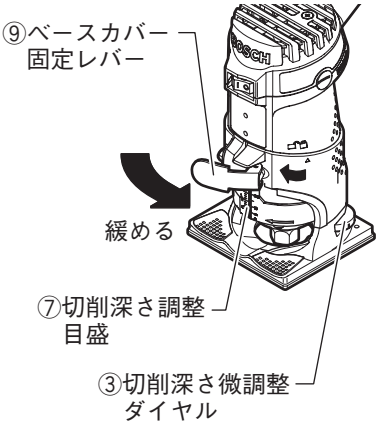
3. ルータービット④を引き抜きます。

切削深さを設定する

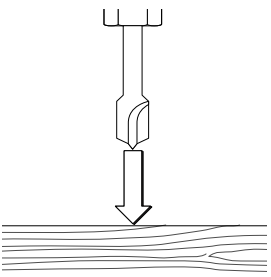
1. パワートリマー本体を作業する材料の上に置きます。

2. ベースカバー固定レバー⑨を緩めます。

3. ベースカバー②の ▲ マークがモーターユニット①の 🔓 位置に合うように、モーターユニット①を回します。



4. モーターユニット①をゆっくり下げ、ルータービット④の先端を材料に当てます。

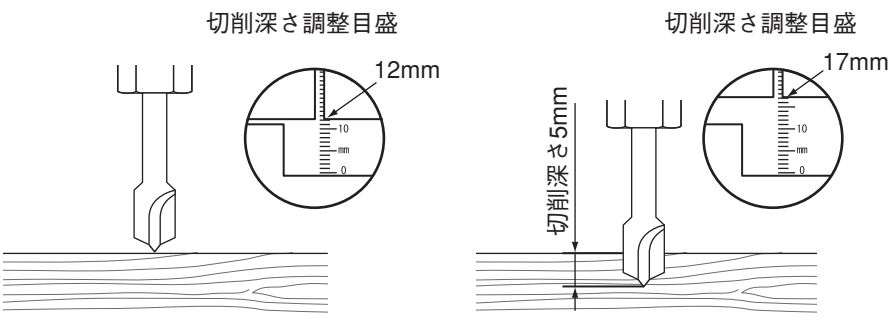


5. ベースカバー固定レバー⑨を締めます。

6. 切削深さ調整目盛を読みます。

7. モーターユニット①を手で押さえながら、ベースカバー固定レバー⑨を緩めます。

8. 手順6で読んだ目盛に切削したい深さを足した目盛までモーターユニット①を下げ、その位置を保持したままベースカバー②の ▲ マークがモーターユニット①の 🔒 位置に合うように、モーターユニット①を回します。



使い方

9.　ベースカバー固定レバー⑨を締めます。

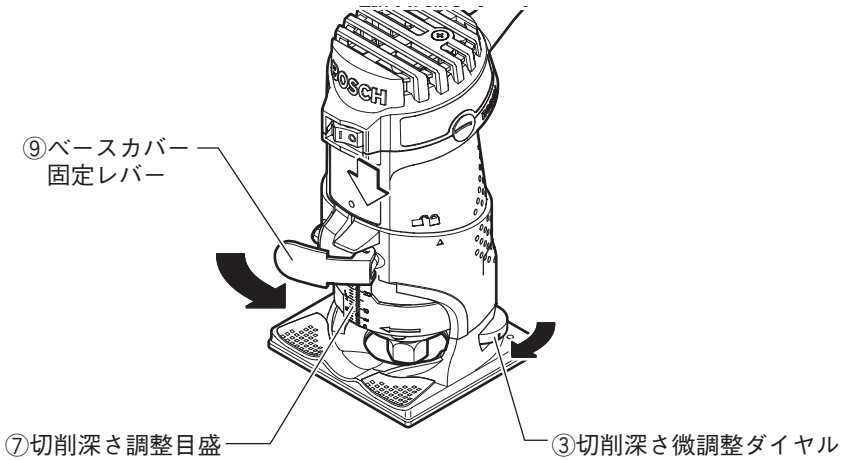
切削深さの微調整

1.　ベースカバー固定レバー⑨を緩めます。

2.　ベースカバー②の ▲ マークをモーターユニット①の ◓ に合わせたまま、「切削深さ微調整ダイヤル③」を回します。

深くする：モーターユニット①の上から見て、時計方向に回す
浅くする：モーターユニット①の上から見て、反時計方向に回す

3.　ベースカバー固定レバー⑨を締める。



切削する

⚠注意

◆ 切削作業は、必ずルータービットの回転方向とは逆の方向に本体を移動させてください。（23ページ「作業のヒント」参照）
ルータービットの回転方向と同じ方向に本体を移動させると、動きが乱れ、コントロールできなくなる可能性があります。

◆ 切削作業は、必ずベースを取り付けて行ってください。ベースを取り付けないで切削すると、動きが乱れ、事故の原因になります。

1 材料を確実に固定する

☞ 材料の固定には、クランプや万力を使用してください。

2 ルータービットを点検する

ルータービット④が欠けていたり、摩耗したりしていないか点検してください。

3 切削深さを確認する

切削深さが正しく設定されているか確認してください。

4 ベースカバー②を確実に固定する

ベースカバー②の ▲ マークがモーターユニット①の ◓ 位置に合っていて、ベースカバー固定レバー⑨が確実に締まっているか確認してください。

5 電源プラグを電源コンセントに差し込む

⚠警告

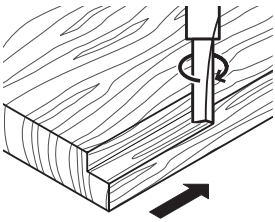
◆「メインスイッチ⑩」が“OFF”になっていることを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。

6 切削を始める

スイッチのON/OFF

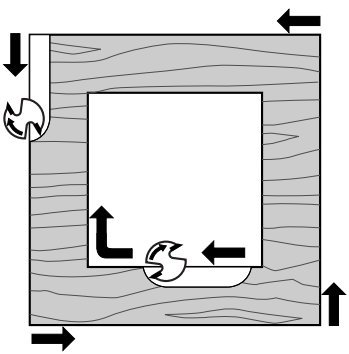
スイッチON　：「メインスイッチ⑩」を　❙（入）にします。
スイッチOFF ：「メインスイッチ⑩」を　O（切）にします。

「メインスイッチ⑩」を　❙（入）にし、けがき線または材料に沿ってゆっくりと一定の速度で切削作業を行います。



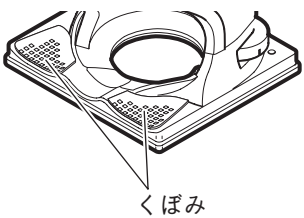
＜作業のヒント＞

パワートリマーは、奥から手前に移動するときは右側に、手前から奥に向かって移動するときは左側に寄る性質があります。
下図のようにパワートリマー本体を動かすと本体と材料が離れにくく、より正確に作業が行えます。



＜作業のヒント＞

ベースプレート⑥にあるくぼみを押さえると、ベースプレート⑥が浮き上がったりせず、より安定した作業が行えます。



⑦ 切削を終える

切削作業が終了したら、「メインスイッチ⑩」を ○（切）にします。

☞ 切削後に切削深さを微調整（深く）するときは、「切削深さ微調整ダイヤル③」で調整することができます。（21ページ参照）

テンプレートガイドを使用して切削する

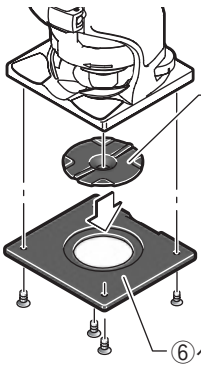
テンプレート（型板）を使用し、同じ加工を繰り返し行うときに有効です。（テンプレートの使用については、次ページ「作業のヒント」を参照してください）

☞ テンプレート（型板）は、8mm以上の厚さのものを使用してください。

☞ ルータービットは、テンプレートガイドの穴より小さい径のものを選んでください。

1. ベースプレート⑥からネジ4本を外し、ベースプレート⑥のプラスチック部（黒）を取り外します。

2. 取り外したベースプレート⑥のプラスチック部にテンプレートガイドをはめ込み、ネジ4本でベースプレート⑥に取り付けます。



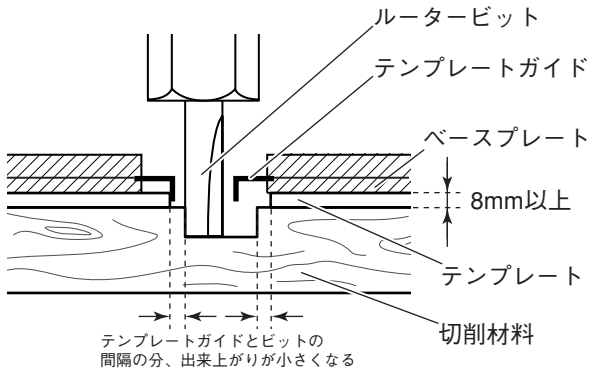
3. テンプレートガイドが確実に取り付けられているか確認します。

4. 材料の上にテンプレート（型板）を置き、その上にパワートリマー本体をセットします。

5. 「切削する」（22ページ参照）の手順に従って切削作業を行います。パワートリマーは、テンプレートに沿って材料に軽く押し付けるようにしながら、一定の速度で動かしてください。

＜作業のヒント＞

テンプレートガイドを使用した場合、その構造上、実際にでき上がるものはテンプレート（型板）よりも少し小さくなります。

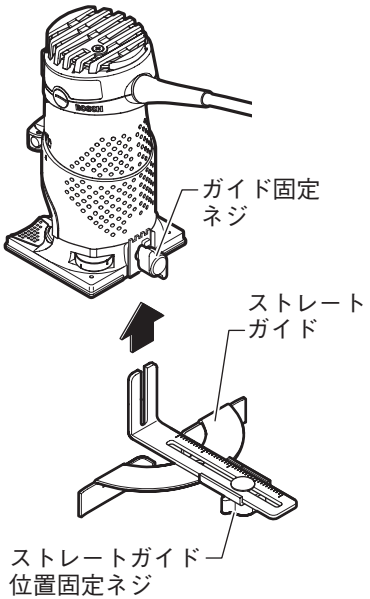


テンプレートガイドとルータービットの間隔の分、テンプレート（型板）を大きく作成すると、お望みの大きさに仕上がります。

ストレートガイド・トリマーガイドを使用して切削する

直線加工や面取り加工などが正確に行えます。

直線加工・長尺物の面取り加工



1. ガイド固定ネジを緩めます。

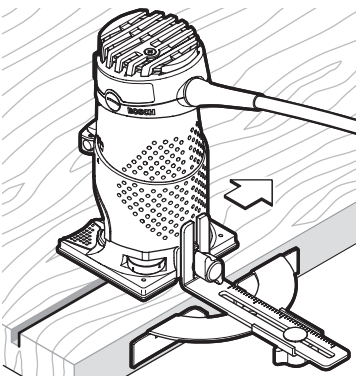
2. ストレートガイドをガイド固定ネジの下から差し込みます。

3. ストレートガイドの高さを調整し、ガイド固定ネジを締めます。

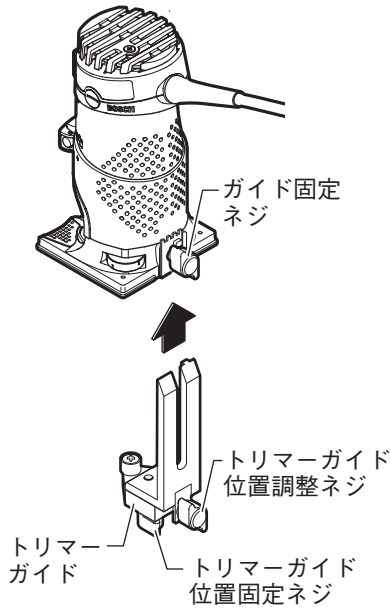
4. 切削材料の側面にストレートガイドを当てます。

5. ルータービットの位置が切削位置に合うようにストレートガイドを調整し、ストレートガイド固定ネジを締めます。

6. 「切削する」（22ページ参照）の手順に従って切削作業を行います。
パワートリマーは、切削材料の側面に沿って軽く材料に押し付けるようにしながら一定の速度で動かしてください。



面取り加工・トリミング



1. ガイド固定ネジを緩めます。

2. トリマーガイドをガイド固定ネジの下から差し込みます。

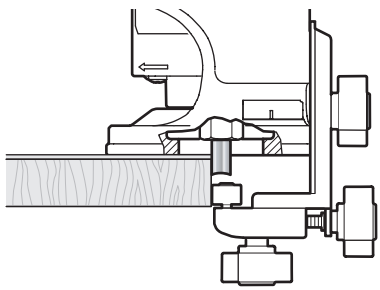
3. ローラーの高さを調整し、ガイド固定ネジを締めます。

☞ 使用しているルータービットや切削する材料の厚さに応じてローラーの高さを調整してください。

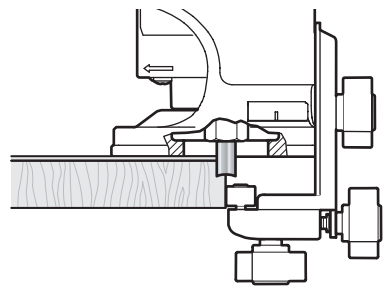
4. トリマーガイド位置固定ネジを緩めます。

5. ルータービットが切削位置にくるように、トリマーガイド位置調整ネジを回してローラーの位置を調整し、トリマーガイド位置固定ネジを締めます。

☞ ローラーの位置を調整することで面取り量を調整できます。



トリマーガイド位置調整ネジを
反時計方向に回す：
ローラーが前方に移動する
（面取り量が少なくなる）

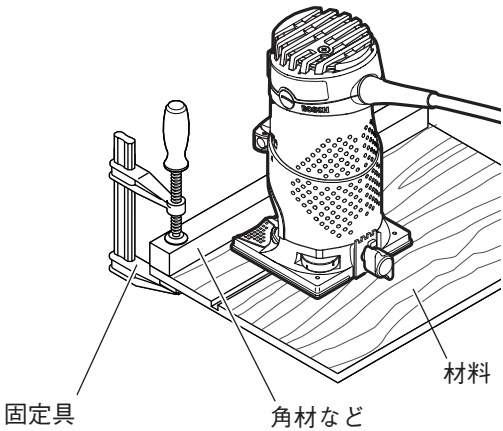


トリマーガイド位置調整ネジを
時計方向に回す：
ローラーが後方に移動する
（面取り量が多くなる）

6. 「切削する」（22ページ参照）の手順に従って切削作業を行います。パワートリマーは、切削材料の側面に沿って軽く材料に押し付けるようにしながら一定の速度で動かしてください。

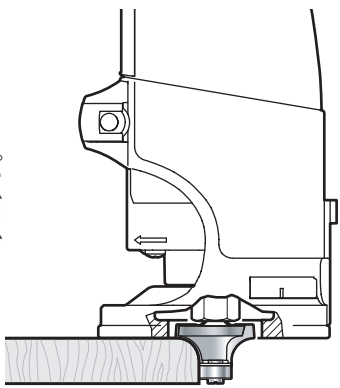
角材などを使用して切削する

角材などを使用して平行切削を行う場合は、切削材料と角材などを固定具（クランプなど）で確実に固定してください。
切削作業は、ベースプレート⑥を角材などに押し当てながら、パワートリマーを一定の速度で動かしてください。
（動かす方向については、23ページ「作業のヒント」を参照してください）



コロ付きルータービット（市販品）を使用して切削する

ストレートガイドやトリマーガイドを使用せずに面取り切削が行えます。
切削作業は、パワートリマーを垂直に保ち、ルータービットのコロを材料の側面に沿って軽く材料に押し付けるようにしながらパワートリマーを一定の速度で動かしてください。（動かす方向については、23ページ「作業のヒント」を参照してください）



困ったときは

故障かな？と思ったら

① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症　状	原　因	対　処
作動しない	電源プラグが電源コンセントから抜けている 内部パーツの不良 電源ケーブルの断線	電源プラグを電源コンセントに確実に差し込む 修理を依頼する 修理を依頼する
切削に時間がかかる（切削しない）	ルータービットが摩耗している	ルータービットを交換する
「メインスイッチ⑩」を○（切）にしても、作動したまま止まらない	内部パーツの不良	修理を依頼する

修理を依頼するときは

◆『故障かな？と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前 9：00〜午後 6：00

＊電話番号が03および04で始まる地域のお客様、および携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ電動工具サービスセンター北海道

〒003-0873 北海道札幌市白石区米里3条2-6-33
TEL 011-875-2388　FAX 011-879-2138

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県大里郡江南町大字千代字東原39
ゼクセルロジテック内
TEL 048-536-7171　FAX 048-536-7176

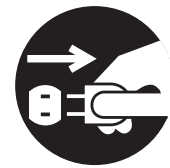
ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡親宮町的野741-1
TEL 092-963-3486　FAX 092-963-3407

お手入れと保管

⚠警告

◆ お手入れのときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

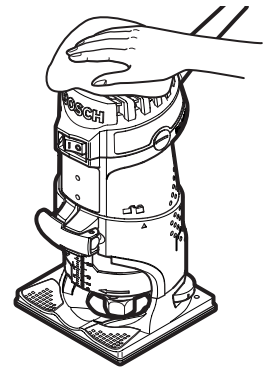


クリーニング

通風口やコレットなどに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

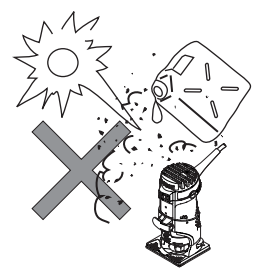
☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保　管

パワートリマーを使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 雨風にさらされたり、湿度の高いところに置かない
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。



● 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
● 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
● 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

BOSCH

ボッシュ株式会社　電動工具事業部

ホームページ：http://www.bosch.co.jp

〒150-8360　東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンター フリーダイヤル

0120-345-762

（土・日・祝日を除く、午前 9：00〜午後 6：00）

EMA-PMR500

2 609 140 317 (06.01)